

## 那須岳

概況（平成 14 年 10 月）

火山活動に特別な変化はなく、落ち着いた状態が続きました。

地震回数は少ない状態が続き、火山性微動は観測されませんでした。西側斜面の噴気地帯で行った温度観測では、前回と比較して噴気温度に大きな変化はありませんでした。噴煙の高さは 50～100 m で、特に異常な変化はありませんでした。火山活動によるとみられる地殻変動は観測されませんでした。

地震活動の状況

この 2 年の日別地震回数を見ると、那須塩原付近を震源とする地震を除き、昨年（2001 年）の 5 月・12 月に一時的に地震回数が増えた他は落ち着いた状態が続いています。火山性微動は観測されませんでした（表 1、図 1～2）。

表 1 火山性地震日別回数表（那須岳）

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計		
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計		
	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	5		
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	8

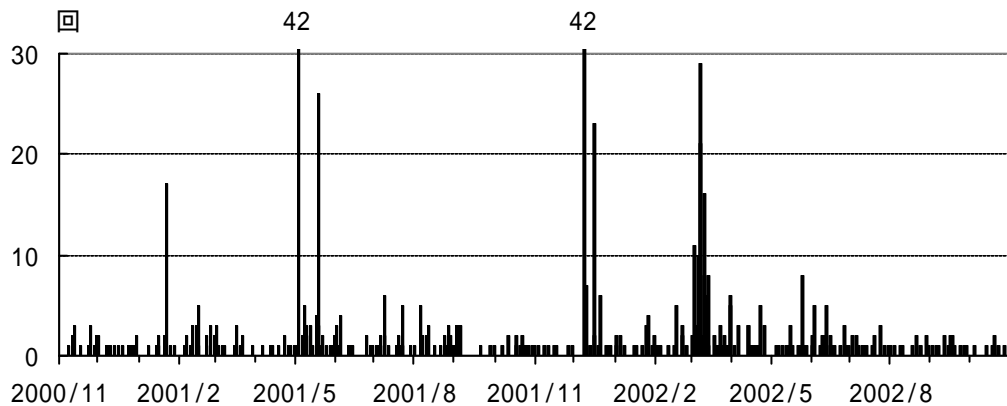


図 1 那須岳 火山性地震日別回数（2000年11月1日～2002年10月31日）

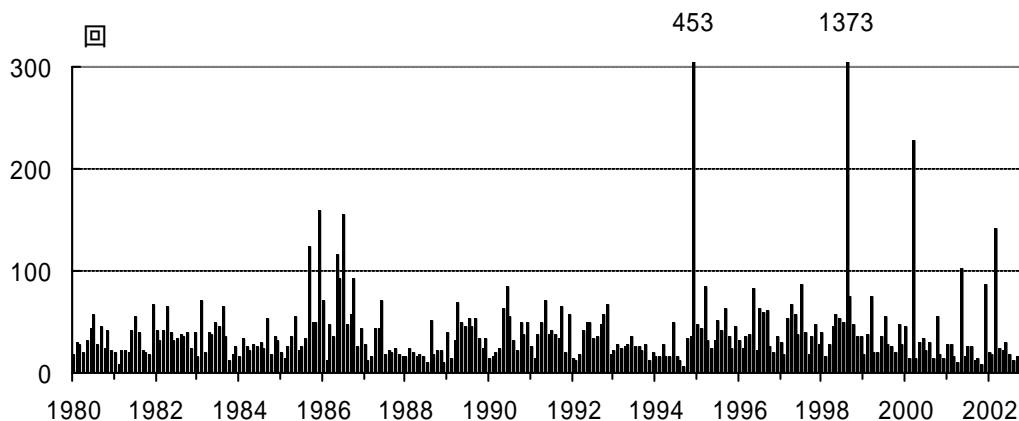


図 2 那須岳 火山性地震月別回数（1980年1月～2002年10月）

噴気地帯の状況

10月9日に西側斜面の噴気地帯で温度観測を実施しました。噴気は、噴出音を伴い風によって時々向きを変えながら、高さ50m以上まで達していました。赤外熱映像観測装置によると、噴気地帯周辺の最高地表温度は98.8℃でした(図3下)。最も温度が高かった噴気孔(図3のA)は148℃で、前回(6月)の150℃と比較して大きな変化はありませんでした(サーミスタ温度計による)。また、継続的に観測を行っているW-2及び38火口の温度はそれぞれ97℃、141℃で、落ち着いた状態が続いています(図4)。

次の噴気地帯の観測は、来年春に実施する予定です

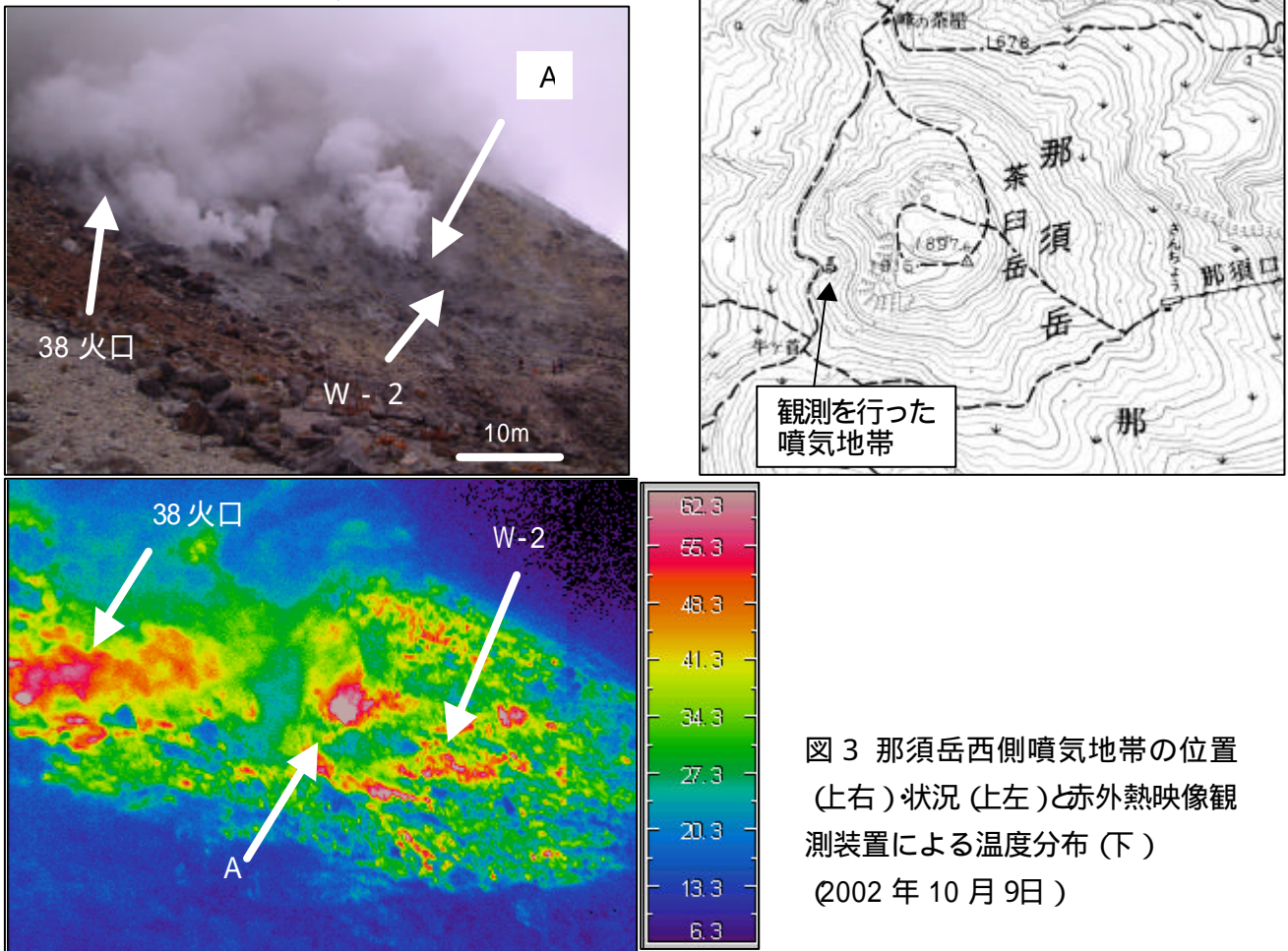


図3 那須岳西側噴気地帯の位置(上右)状況(上左)と赤外熱映像観測装置による温度分布(下)(2002年10月9日)

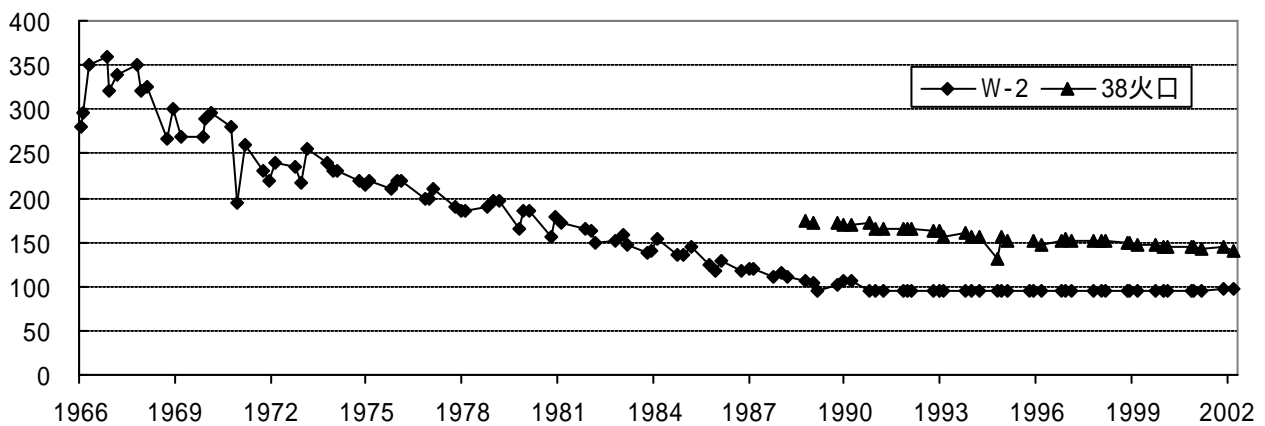


図4 那須岳 西斜面噴気温度(1966年8月~2002年10月)

噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙の高さは50~100mで、特に異常な変化はありませんでした。

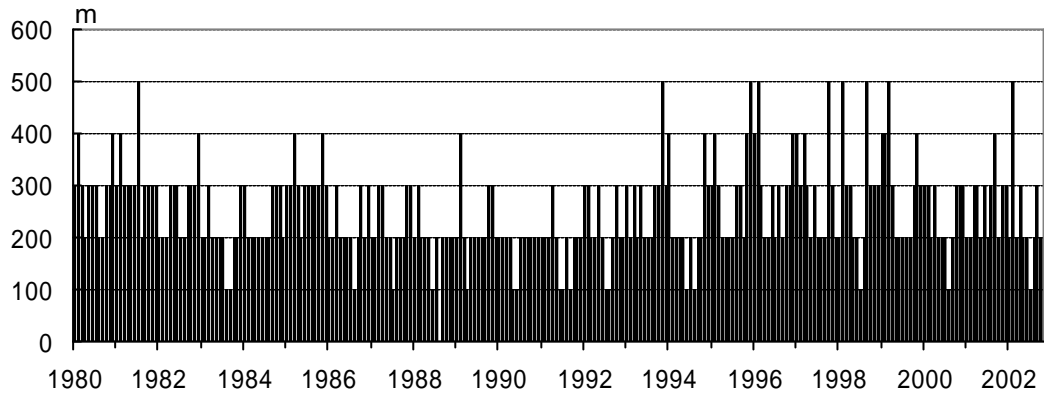


図5 那須岳 月別最高噴煙高度 (1980年1月~2002年10月)

地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。

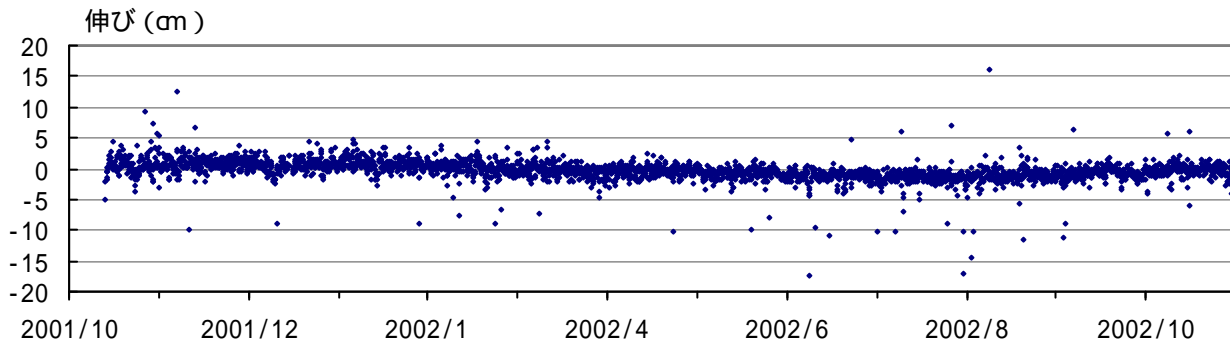
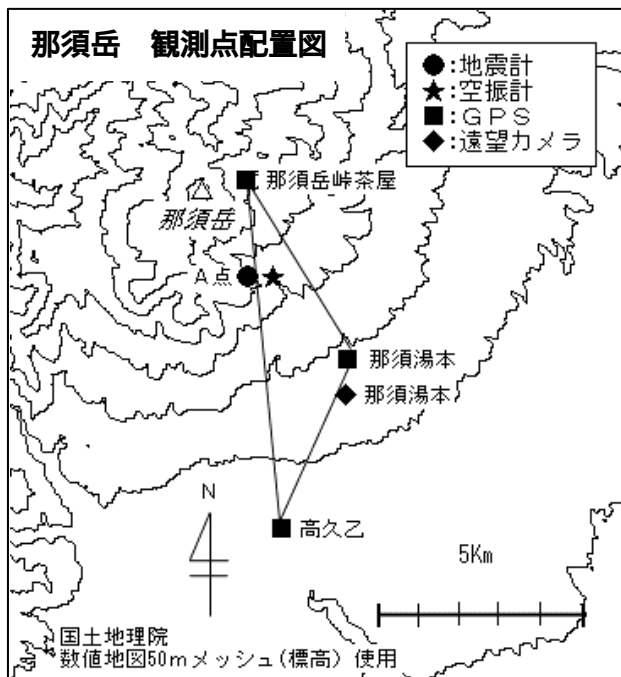


図6 那須岳 GPS観測結果(2001年10月1日~2002年10月31日)  
那須湯本 - 那須岳峠茶屋 基線長



今月から、GPS観測点の名称を以下の通り変更します。

那須岳

新	旧
那須湯本	那須小学校
那須岳峠茶屋	峠茶屋
高久乙(たかおつ)	室野井小学校